

# 令和5年度 学校経営方針

丹波篠山市立八上小学校

## 1 学校経営の基本方針

教育は人づくり、人づくりは地域づくりの理念のもと、歴史と伝統（150年）によって培われてきた校風、地域社会（自然・文化・人材）とのつながりを基盤に、地域の未来を担う人材の育成を目指し、学校・家庭・地域の子どもの教育に対する思いや願いを共有しながら、連携・協働して学校教育目標の具現化に向けた教育活動を推進する。これから社会の創り手となる子どもたちに生きる力を育むために、「ふるさと教育」を重点とし、デジタル化によって学習の効率化が進む今、様々なひと・もの・ことと実際に出会い学ぶ「ふるさと教育」は、今後より一層重要な役割を担うと考えられる。子ども一人一人が意欲的・主体的に活動を進め、充実感と達成感をもち、学ぶことが楽しい、ふれあうことが楽しいと思えるような持続可能な学校づくりを図っていく。

## 2 学校教育目標

やさしい心を持ち 自ら考え みなぎる元気な 児童の育成

## 3 本年度の重点目標

- (1) 児童が主体的に学ぶ授業づくりを進め、自己学習力をつける。
  - ・カリキュラムマネジメントを行い、児童が主体的、対話的で深い学びができるよう学習指導を工夫する。
- (2) 児童が持っている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る。
  - ・児童一人一人の内面に対する共感的理解に努め、それぞれの個性をより発揮できるようユニバーサルな学校づくりをする。
  - ・ポジティブ(肯定的)な行動支援を行い、気持ちのよいあいさつ、時間を意識した行動などの基本的な生活習慣の定着をめざす。
- (3) 「生きる力」の核となる豊かな人間性を育てるため、人権教育・道徳教育・特別支援教育を推進する。
  - ・自分の役割を果たそうとする意欲の向上とやり遂げる気力・態度を培う。
- (4) 保護者・地域との連携を深め、ふるさと「八上」に根ざした「地域とともにある学校づくり」を探求する。
  - ・地域の人材や教材を活用した「ふるさと・キャリア教育」を推進し、地域の良さを学び、ふるさとを愛しふるさとに誇りを持つ児童を育成する。保護者・地域との連携を深め、ふるさと教育を推進する。

## 4 めざす児童像

- ㊦やさしい心をもった子（徳） 人との対話を通じて、思いやりの心を持つことのできる子
- ㊦んがえる力をのぼす子（知） 自分の学び方を身につけ、自ら考え、意欲的に学び続ける子
- ㊦なぎる元気がある子（体） 体を動かす楽しさを感じ、健康でたくましい体力を備えた子

## 5 めざす学校像（ユニバーサルな学校）

- 子どもにとって、「学びたい大好きな学校」
- 保護者にとって、「通わせて安心な学校」
- 地域にとって、「誇りに思える学校」
- 教職員にとって、「やりがい働がいのある学校」

## 6 めざす教師像

- 教育に情熱を持ち、自己研鑽に努める教師
- 教育の専門家として、使命感・責任感のある教師
- 子どもとともに学び、授業力・指導力のある教師
- 子どもや保護者から、尊敬され信頼される教師